

(その三)

工場又は事業場の名称	住友化学株式会社 千葉工場
------------	------------------

(2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

(1) の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせで実施した場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策 10
5	2	5	6	5	9				

その他(19, 29, 39, 49, 59, 99)を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

対策 2
当千葉工場の合成ゴムプラントで排出される、n-ヘキサンについて蓄熱燃焼設備の設置工事は平成21年5月末に完成しました。
対策 3
① 当千葉工場の高圧ポリエチレンのペレットサイロから排出される酢酸ビニルについて、サイロの排出バント配管をボイラーの燃焼空気に接続して酢酸ビニルを燃焼させている。平成19年10月に工事が完成し、平成20年2月より処理を開始した。
②高圧ポリエチレン工場の酢酸ビニルタンクのバントラインをフレアーラインに接続して焼却する工事が平成24年2月に完成して、3月から使用開始した。
③高圧ポリエチレン工場のエチレン大気放出の削減(フレアーラインに接続して焼却)平成23年10月にフレアーラインに接続ノズルの設置が完了した。

(その四)

工場又は事業場の名称	佐藤産業株式会社 成東工場
------------	------------------

(3) 自主的取組実績の評価

ア (1)の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

評価	計画年度の属する年度		
	平成21年度以前	平成22年度	平成23年度以降
A	目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。	削減目標を達成できた。	計画年度の目標を達成できた。
B	目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる(一部に課題がある。)	削減目標を概ね達成できた(一部に課題がある。)	計画年度の目標を概ね達成できた(一部に課題がある。)
◎	目標年度の目標の達成に困難な課題がある。	削減目標の達成に困難な課題がある。	計画年度の目標の達成に困難な課題がある。

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ 課題と対策

前年までのVOC排出量の測定方法について問題があり、算出方法を見直した結果、目標値を大幅に超えた数値が出た。

今後、目標値を見直すとともに、こまめにフタを閉める等、啓蒙活動を行う。

備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。

(その三)

工場又は事業場の名称	コスモ石油株式会社 千葉製油所
------------	--------------------

(2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

(1) の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策 10
4 1	5 2	5 9							

その他(19, 29, 39, 49, 59, 99)を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

1. 対策1として、現在、原油、揮発油（製品ガソリン、中間ガソリン、ナフサ等）、J E T 燃料油のタンクは全て浮き屋根式あるいは内部浮き屋根式であり、タンクのV O C 対策は、本条例の基準年度以前に全て完了しており、これらのV O C 対策済タンクの維持・管理を適切に実施した。
2. 対策2の第1陸上出荷場（ローリー出荷）及び第2陸上出荷場（タンク貨車出荷）における揮発油の積み込み時に発生するV O C 対策としてV O C 回収装置（吸収溶剤灯油）を既に設置（第1：昭和63年、第2：平成2年）しており、この設備の維持・管理を適切に行い、V O C 回収率85%以上で運用した。
3. 対策3のその他として、少しでもV O C 吸収を改善する為に、夏期に対策2の吸収設備に冷却散水を実施した。

(その四)

工場又は事業場の名称	コスモ石油株式会社 千葉製油所
------------	--------------------

(3) 自主的取組実績の評価

ア (1)の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

評価	計画年度の属する年度		
	平成21年度以前	平成22年度	平成23年度以降
A	目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。	削減目標を達成できた。	計画年度の目標を達成できた。
B	目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる(一部に課題がある。)	削減目標を概ね達成できた(一部に課題がある。)	計画年度の目標を概ね達成できた(一部に課題がある。)
C	目標年度の目標の達成に困難な課題がある。	削減目標の達成に困難な課題がある。	計画年度の目標の達成に困難な課題がある

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ 課題と対策

<p>昭和63年、平成2年に陸上出荷施設にはVOC回収設備を設置した。また、VOC関連タンクも全て浮き屋根式あるいは内部浮き屋根式であり、VOC対策は基準年のH12年以前に全て完了している。</p> <p>この為、現在はVOC対策設備の維持・管理を確実に実施すると共に夏期は少しでもVOCの回収効率を上げる為にVOC回収装置に対し冷却散水を実施しているが、外気温の上昇による冷却効果の低下や製品の出荷が大幅に増加した場合、VOC回収率85%以上の目標達成に至らない可能性もある。</p>

備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。

{その三}

工場又は事業場の名称	大洋塩ビ株式会社 千葉工場
------------	------------------

(2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

(1) の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせで実施した場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策 10
2	9	3	1	5	1	5	9	9	9

その他(19, 29, 39, 49, 59, 99)を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

【対策1】について
・安定操業に努めました。
【対策4】について
・廃液処理塔を設置し、スチームストリッピングにより排水中の塩ビモノマーを回収しました。
【対策5】について
・タンク開放点検前に窒素で置換し、塩ビモノマーガスを回収しました。

